



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東
コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03 (3280) 2151
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	41,157	1.5	4,991	17.6	5,129	12.2	3,137	△10.9
2026年3月期第1四半期	40,553	9.9	4,245	△8.6	4,571	9.8	3,520	3.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 3,492百万円(6.8%) 2026年3月期第1四半期 3,270百万円(△12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	30.35	30.25
2026年3月期第1四半期	33.78	33.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	215,961	124,824	57.0
2026年3月期	220,445	125,349	56.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 123,091百万円 2026年3月期 123,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	28.00	—	39.00	67.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	34.00	—	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,100	3.5	9,600	13.9	9,800	13.9	6,200	1.3	59.97
通期	169,000	3.7	19,300	7.7	19,700	7.9	12,600	△20.7	121.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
連結業績予想の修正については、本日(2026年8月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	103,968,400株	2026年3月期	103,968,400株
2027年3月期1Q	591,507株	2026年3月期	591,507株
2027年3月期1Q	103,376,893株	2026年3月期1Q	104,244,797株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な設備投資を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、継続する物価上昇の影響や海外情勢の変化、通商政策の動向などによる経済への影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、主力市場であるナイト市場およびカラオケボックス市場を中心に需要は底堅く推移するなか、各商圏の中心地における事業者間の競争は引き続き活発な状況となっております。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第1四半期の業績は、売上高は第1四半期における過去最高となる41,157百万円(前年同期比1.5%増)となり、営業利益は4,991百万円(同17.6%増)、経常利益は5,129百万円(同12.2%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前年同期にあった固定資産売却益が剥落した影響などにより、3,137百万円(同10.9%減)となりました。

	(百万円)			
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売 上 高	40,553	41,157	604	1.5%
営 業 利 益	4,245	4,991	745	17.6%
経 常 利 益	4,571	5,129	558	12.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,520	3,137	△383	△10.9%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、市場は全体として底堅く推移し、当第1四半期末のDAM稼働台数は前年同期と比べ微増となりました。

昨年4月に発売いたしましたDAMの最上位モデル「LIVE DAM WA0! (ライブダムワオ)」においては、ライブやアニメ等の「本人映像」をさらに拡充しDAMの商品力強化を図るとともに、テレビ番組をはじめとするメディアや、各種イベントとのタイアップを積極的に推進することで、カラオケに対する需要喚起と新たな機能・コンテンツの訴求に努めました。主力市場であるナイト市場・カラオケボックス市場においては、「LIVE DAM WA0!」を中心に、旧機種からの効果的な入替えを推進することにより、DAM1台あたりの収入増加に努めました。介護施設等のエルダー市場においては、訪問営業やオンラインコンサートの実施などを通じて、エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE (フリーダムライフ)」の拡販と、介護現場における職員の負荷軽減に繋がる機能の訴求に努めたほか、大学等との共同研究を通じて「歌うこと＝健康」という認知拡大に努めました。

以上の結果、前年同期にあった新商品効果が剥落し、卸売を中心とした商品販売売上が減少したことにより、売上高は前年同期比7.4%の減収となりました。利益面におきましては、機器賃貸料や情報提供料といったストック収入からの粗利が増加したほか、プロモーション費用などの販管費が減少したことなどにより、営業利益は前年同期比14.3%の増益となりました。

	(百万円)			
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売 上 高	17,714	16,401	△1,312	△7.4%
営 業 利 益	3,259	3,726	467	14.3%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ3店舗、飲食6店舗の出店及びカラオケ3店舗、飲食2店舗の閉店を行ったことにより、当第1四半期末の店舗数はカラオケ521店舗、飲食171店舗となりました。

店舗の集客は堅調に推移し、当第1四半期の既存店売上高はカラオケ店舗で前年同期比2%増、飲食店舗で同3%増となりました。

このようななか、ビッグエコー店舗においては“BIG SMILE, BIG ECHO. 歌おう、笑おう、みんなともっと”をスローガンに、メーカー直営店としてカラオケ機器、音響、美観といったクオリティ向上による顧客満足度向上に努めるとともに、多様なアーティストやアニメ作品とのコラボレーション企画等を積極的に展開し、カラオケを通して様々な喜びと楽しさの創出に努めました。また、ダーツバー「B-GARAGE」の併設や、荷物預かりサービスとの提携など、好立地を生かして店舗の収益力強化に繋がる取り組みを推進いたしました。

飲食店舗においては、予約受注が好調に推移するなかで、店舗環境、接客サービス、料理のクオリティ向上を図りました。また、「REGALO」などのダーツバー2店舗を出店したほか、飲食とアミューズメントの複合店舗「MARUNOUCHI BASE」及び「SHINAGAWA PIVOT」が収益に貢献いたしました。

以上の結果、既存店における増収に加え、出店やM&Aによる店舗数の増加などにより、売上高は前年同期比6.8%の増収となり、営業利益は出店数の増加に伴う費用増や、食材等のランニングコストが上昇した影響などにより、前年同期比2.5%の減益となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売 上 高	16,474	17,588	1,113	6.8%
営 業 利 益	1,292	1,260	△32	△2.5%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、カラオケを中心とする自社メディアを活用した音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築に努めました。当第1四半期におきましては、「純烈」の弟分グループとして4月にメジャーデビューいたしました「モナキ」のデビューシングル「ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど」などが収益に貢献いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比9.8%の増収となり、営業利益は前年同期比39.7%の増益となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売 上 高	1,326	1,456	130	9.8%
営 業 利 益	89	124	35	39.7%

(その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とすべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業の業容拡大が進展し、当第1四半期末時点で約4,500施設、52,000車室となりました。また、「スターデジロAir」等で展開するBGM事業や、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」についても堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入が増加したことなどにより前年同期比13.4%の増収となり、営業利益は前年同期比27.9%の増益となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売 上 高	5,038	5,711	673	13.4%
営 業 利 益	721	922	201	27.9%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,484百万円減少し、215,961百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では現金及び預金が7,505百万円及び棚卸資産が727百万円それぞれ減少し、その他に含まれる前払費用が1,109百万円増加しております。

固定資産ではカラオケ貸貸機器が528百万円、カラオケルーム及び飲食店舗設備が511百万円及び投資有価証券が780百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,960百万円減少し、91,136百万円となりました。

これは主に、流動負債の未払法人税等が2,986百万円及び賞与引当金が506百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ524百万円減少し、124,824百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加3,137百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少4,031百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、本日(2026年8月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,841	41,335
受取手形及び売掛金	6,990	6,866
棚卸資産	14,023	13,296
その他	7,540	9,536
貸倒引当金	△185	△173
流動資産合計	77,209	70,861
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ貸貸機器（純額）	10,386	10,915
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	16,499	17,011
土地	53,282	53,282
建設仮勘定	114	279
その他（純額）	18,076	18,014
有形固定資産合計	98,361	99,502
無形固定資産		
のれん	7,435	7,230
その他	6,137	6,106
無形固定資産合計	13,572	13,336
投資その他の資産		
投資有価証券	6,429	7,210
敷金及び保証金	14,772	15,026
その他	10,193	10,113
貸倒引当金	△94	△89
投資その他の資産合計	31,301	32,260
固定資産合計	143,235	145,099
資産合計	220,445	215,961

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,375	2,689
短期借入金	3,196	3,195
未払法人税等	5,097	2,111
賞与引当金	1,073	566
その他	15,609	14,835
流動負債合計	27,351	23,398
固定負債		
長期借入金	51,682	51,533
役員退職慰労引当金	623	598
退職給付に係る負債	9,291	9,461
資産除去債務	2,078	2,039
その他	4,068	4,105
固定負債合計	67,744	67,737
負債合計	95,096	91,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,211	4,211
利益剰余金	106,897	106,003
自己株式	△1,195	△1,195
株主資本合計	122,263	121,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,492	1,815
土地再評価差額金	△158	△158
為替換算調整勘定	191	210
退職給付に係る調整累計額	△148	△144
その他の包括利益累計額合計	1,376	1,722
新株予約権	462	488
非支配株主持分	1,246	1,244
純資産合計	125,349	124,824
負債純資産合計	220,445	215,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	40,553	41,157
売上原価	26,393	26,407
売上総利益	14,160	14,750
販売費及び一般管理費	9,914	9,759
営業利益	4,245	4,991
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	110	113
受取保険金	16	40
受取協賛金	189	61
その他	170	178
営業外収益合計	493	400
営業外費用		
支払利息	104	158
為替差損	17	29
解約違約金	15	9
その他	31	65
営業外費用合計	168	262
経常利益	4,571	5,129
特別利益		
固定資産売却益	866	0
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	866	0
特別損失		
固定資産処分損	37	64
減損損失	13	5
特別損失合計	50	69
税金等調整前四半期純利益	5,387	5,060
法人税、住民税及び事業税	2,099	1,910
法人税等調整額	△244	2
法人税等合計	1,854	1,913
四半期純利益	3,532	3,147
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,520	3,137

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,532	3,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	323
為替換算調整勘定	12	18
退職給付に係る調整額	△8	3
その他の包括利益合計	△262	345
四半期包括利益	3,270	3,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,258	3,482
非支配株主に係る四半期包括利益	11	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	17,714	16,474	1,326	35,515	5,038	40,553	—	40,553
セグメント利益 (営業利益)	3,259	1,292	89	4,641	721	5,362	△1,116	4,245

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,116百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	16,401	17,588	1,456	35,446	5,711	41,157	—	41,157
セグメント利益 (営業利益)	3,726	1,260	124	5,111	922	6,033	△1,042	4,991

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,042百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,718百万円	3,990百万円
のれんの償却額	133	204